

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2023年1月30日】第153号



学力テスト

農大稲花小では、3年生以上は毎学期、1,2年生も学年末を目途に、学力テストを行っています。しかしこれは、子どもたちに順位をつけることが目的ではありません。学力テストの点数を見るのではなく、できた分野、間違えた分野を確認することとしています。それぞれの子どもが得意な分野は自信をもってさらに伸ばすように、また、苦手な分野は躓いたところに戻って力をつけることが目的です。また、普段よりはさらに真剣にテストに取り組むという経験も、子どもたちには必要だと考えています。

1,2年生の学力テストの結果は、教員が授業の進め方を振り返る材料に、3,4年生は教員だけでなく子どもたち自身が保護者とともに、授業の理解度確かめる材料とすることとしています。1月25日(水)と26日(木)に行った学力テストでも、子どもたちは集中力をもって取り組んでいました。

毎日の取り組み

農大稲花小では、毎日1コマ、英語の授業があります。ネイティブスピーカーである英語講師による英語による授業です。学年が進むにつれて、英語の力がついていきますが、とくに、しっかりと”英語耳”が育っているのには驚きます。

この英語については、毎日15分から20分程度の復習をすることを前提としています。子どもたちはアプリをつかって自宅で、楽しく復習ができるようになっています。2023年1月(1日から26日の間)の家庭学習時間を調べてみますと、総計300分から400分くらい勉強している子どもが多いのですが、中には600分から700分も勉強している子どももいます。積み重ねの大切さを感じるとともに、子どもの家庭学習を応援してくださっている保護者の皆様に感謝しています。

授業参観

1月24日(火)、25日(水)、26日(木)、27日(金)の各日、学年ごとに授業参観が行われました。教室に3台のカメラを置いてのオンラインによる授業参観です。教室で授業の様子を見たいとお考えの保護者様のご期待に沿えないままで申し訳ないのですが、授業がはじまって5分もすると平常通りの授業態度となる子どもたちの様子を見ると、オンラインによる授業参観の良さも感じます。子ども一人当たり2台のデバイスまでご参観いただけるので、ご家庭だけでなく、職場や出先などからご両親がそれぞれ授業参観をされる例も少なくありません。

カメラやマイクは更新して、子どもたちの様子がより良く伝わるように努めていますが、改善すべき点も多く、これからにつなげたいと考えています。参観してくださった保護者の皆様には、定

刻での入室を含めて、ご協力に感謝いたします。

今日の食材は？

1月27日(金)の給食はクジラ肉のカレーが登場しました。そこで、理科教員から提供のあったクジラの髭(ひげ板)が、図書室前に展示されました。髭といっても、本当は髭ではなく、飲み込んだ海水から餌を濾すために皮膚からできた器官だそうです。プラスチックのように固いクジラのひげですが、水に入れておくとやわらかくなります。昔は、これを利用して、かんざしや、靴べらなども作られたと聞きました。



クジラのひげ

また、その日のデザートではアロエが提供されました。そこで、クジラのひげの横には、アロエの葉と花も展示されました。子どもたちからは、「アロエのクリームを手に使ったことがあります。」とか、「いつもヨーグルトに入れて食べています。」などの声も聞かれました。



アロエの花と葉

こんな風に、食べたり、見たり、少し触らせてもらったりしながら、子どもたちは給食とその食材からも多くを学んでいます。

寄付者に感謝する会

1月28日(土)、東京農業大学横井講堂において、「東京農業大学稲花小学校寄付者に感謝する会」を開催しました。本校の教育振興資金にご寄付いただいた在校生保護者に、本校として感謝の意を表することが目的です。この教育振興資金は任意でのご寄付をお願いするものですが、多くの保護者様、また、学校法人東京農業大学のご関係者、さらに本校の教育にご賛同くださる一般の方や企業様からもご寄付をいただいています。

感謝の会には、保護者様とともに子どもたちも参加してくれました。校長からの感謝の言葉に続

き、学校法人東京農業大学理事長大澤貫寿先生にご登壇いただき、校長との対談形式でお話を伺いました。大澤理事長が農大稲花小を設立しようと思った理由、どのような教育を望んでいるかなどについて、ご自身のご体験を含めてお話いただきました。その温かい語り口からは、農大稲花小に対する思いが伝わってきました。詰め込み教育ではなく、五感を大切に、好きなことに本気で集中力をもって取り組めるような教育を目指すことの大切さを、校長自身も改めて理解した対談でした。

会の終了後は、東京農業大学の学生さんがガイド役を勤め、普段は入れないサイエンスポート(研究棟)の見学をしました。通路から、それぞれの研究室を見ることができます。また、学生同士の交流を推進する建物の構造も興味深くご覧いただけたことでしょうか。最後に、農大サポートにより、東京農業大学関係の物品の販売もありました。東京農業大学の学生たちが開発した製品や校友(卒業生)が作った野菜、日本酒、味噌、醤油、ワイン、食品などが人気を集めていたようです。東京農業大学の教育や研究にも、興味を持っていただけたことでしょうか。

なお、ご寄付くださった皆様全員に特製ストラップを贈呈し、高額のご寄付をくださった方々にはそれに加えて理事長より表彰状をお渡しいたしました。たくさんのご参加をありがとうございました。

◇東京農業大学稲花小学校教育振興資金 <https://bokin.nodai.ac.jp/toka>

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子